

日本の近現代史からみる 天皇制と勲章

春と秋に行われる叙勲には、毎年数十億円の税金が投入されていますが、根拠法がないことをご存知ですか？ 日本の敗戦後に停止された生存者叙勲は、法律案が何度か提出されたものの成立には至らず、閣議決定で再開したのは1964年。主権在民をうたう日本国憲法の理念と矛盾する明治時代の「勅令」や「太政官布告」で運用されており、叙勲にかかわる情報公開も限定的です。

日本国憲法7条、天皇の【国事行為】には、「栄典の授与」が定められていますが、「国家が市民を格付けするもの」「官尊民卑の象徴」などという批判も根強くあります。そもそも、叙勲（勲章などを国家が個人に授与すること）は何のために存在しているのでしょうか。日本の勲章制度を本格的に研究している人は非常に少なく、『勲章 知られざる素顔』（岩波新書、2011年）の著書がある栗原俊雄さんはそのお一人です。秋はまさに叙勲の季節。その歴史から見えてくる天皇制について考えていきたいと思えます。どうぞご参加下さい。

日時：2023年11月3日(金・休) 14:00~16:30
お話し：栗原 俊雄さん(毎日新聞記者)
会場：wam オープンスペース(定員40名/予約制・先着順)
参加費：1000円



*オンラインは後日配信のみになります。

申し込みは左記二次元コードから Google フォームで、wam 事務局にメールを
くだされば URL をお送りします。会場参加のみ電話での申し込みも可能です。



【ゲスト紹介】 くりはら・としお

1967年生まれ。東京都出身。早稲田大学政治経済学部政治学科卒、同大学大学院修士課程終了(日本政治史)。1996年、毎日新聞入社。2020年から専門記者(日本近現代史、戦後補償史)。著書に『戦艦大和 生還者たちの証言から』『シベリア抑留 未完の悲劇』『遺骨 戦没者三一〇万人の戦後史』『東京大空襲の戦後史』(以上岩波新書)、『硫黄島に眠る戦没者：見捨てられた兵士たちの戦後史』(岩波書店)、『昭和天皇実録と戦争』(山川出版社)、『特攻 戦争と日本人』(中公新書)、『戦後補償裁判 民間人たちの終わらない「戦争」』(NHK出版新書)、『戦争の教訓 為政者は間違い、代償は庶民が払う』(実業之日本社)など、多数。2009年第3回足田桂一郎賞(新聞労連主催)、2018年第24回平和・協同ジャーナリスト基金賞奨励賞(同基金主催)。

主催：アクティブ・ミュージアム「わたしの戦争と平和資料館」(wam)
東京都新宿区西早稲田 2-3-18 AVACOビル 2F 〒169-0051
t 03-3202-4633 f 03-3202-4634 wam@wam-peace.org

wam セミナー 天皇制を考える

wam は、「女性国際戦犯法廷」(2000 年、東京)から 20 年の節目にあたって、
2020 年 9 月から天皇由来の「祝日」のうち 4 日間を「祝わない」ために開館することにしました。
天皇の戦争責任・植民地支配責任を問い、天皇制を維持してきた責任を見つめなおすために、
タブーなく天皇制について議論できる「場」をつくっていきます。

■これまでのセミナー

第 1 回 2020 年 11 月 3 日

テーマ: 叙勲・お言葉・思いやり…天皇と「国民」
を結ぶもの—「明治節」に考える—
お 話: 池田浩士さん(京都大学元教員)

第 2 回 2021 年 2 月 11 日

テーマ: 桜の国の悲しみ、菊の国への抗い—「紀
元節」に伝えておきたいこと
お 話: 石川逸子さん(詩人)

第 3 回 2021 年 2 月 23 日

テーマ: 「歌会始」が強化する天皇制—序列化され
る文芸・文化
お 話: 内野光子さん(歌人)

第 4 回 2021 年 4 月 29 日

テーマ: 「昭和の日」に記憶する天皇の戦争責任～
近年の研究成果から学ぶ
お 話: 山田朗さん(明治大学平和教育登戸研究
所資料館館長)

第 5 回 2021 年 11 月 3 日

テーマ: 近代天皇と家族の表象
お 話: 北原恵さん(大阪大学元教員)

第 6 回 2022 年 2 月 11 日

テーマ: 近代天皇制がつくってきた差別—水平社
宣言から 100 年を機に考える
お 話: 黒川みどりさん(静岡大学教員)

第 7 回 2022 年 4 月 29 日

テーマ: 天皇と戸籍
お 話: 遠藤正敬さん(早稲田大学台湾研究所非
常勤次席研究員)

第 8 回 2022 年 11 月 3 日

テーマ: 撃ちてし止まむ!
お 話: 池田浩士さん(京都大学元教員)

第 9 回 2023 年 2 月 11 日

テーマ: 天皇制と仏教
お 話: 源淳子さん(仏教・ジェンダー研究)

第 10 回 2023 年 4 月 29 日

テーマ: 植民地責任から問う 靖国神社、合祀の罪
(準備編)
映画上映: 『あんにょん・サヨナラ』(監督: 金兌
鎔、共同監督: 加藤久美子/2005 年/107 分)
アフタートーク: 南相九さん(東北アジア歴史財
団研究政策室長)

第 11 回 2023 年 5 月 25 日

テーマ: 植民地責任から問う 靖国神社、合祀の罪
お 話: 李熙子さん(太平洋戦争被害者補償推進
協議会代表)

会員になりませんか?

●友の会年会費: 3,000円 ●維持会員年会費: 10,000円

会員にはニュースレター(年3回)のほかイベント案内などを逐次お知らせします。
維持会員は入館料無料。各種セミナーや刊行物の割引もあります。

郵便振替口座番号: 00110-2-579814

口座名称: 「女たちの戦争と平和人権基金」係

wam

アクティブ・ミュージアム

女たちの戦争と平和資料館
women's active museum on war and peace

開館時間: 金・土・日・月 13:00~18:00
2月11日、2月23日、4月29日、11月3日は
「祝わない」ため開館

休館日: 火・水・木・祝日(天皇制由来の上記4日を除く)

※時間外の団体来館はご相談ください。
※展示入れ替え期間と年末年始は休館となります。

入館料: 18歳以上 500円
18歳未満 300円
小学生以下 無料

※障害のある方の付き添いは無料です。

東京都新宿区西早稲田2-3-18 AVACOビル2F 〒169-0051
T: 03-3202-4633 F: 03-3202-4634 E: wam@wam-peace.org
URL: https://wam-peace.org Twitter: @wam_peace

